2　競争参加資格
⑴　国際交流基金会計細則第16条又は第18条の規定に該当しない者であること。
⑵　令和４・５・６年度競争参加資格（全省庁統一資格）において「役務の提供等」のA、B又はC等級の資格を有する者であること。
https://www.p-portal.go.jp/pps-web-biz/UZA01/OZA0101#c4
⑶　国際交流基金または外務省から指名停止にされている期間中の者でないこと。
⑷　国際交流基金との契約に関して過去１年において債務不履行、納期遅滞等を起こしたことがなく、適正な契約の履行が確保される者であること。
⑸　国際交流基金からの要望に応じて独立行政法人国際交流基金日本語国際センター（埼玉県さいたま市浦和区北浦和）での打ち合わせに参加することが可能な者であること。
⑹　本件事業を的確に実施するに足る組織・人員体制・経営基盤を有し、かつ、資金等について充分な管理能力及び精算を適切に行う経理体制を有していること。
⑺　本件入札参加を通じて得た本件業務に関する機密情報の守秘を誓約する者であること。
⑻　ウェブサイト運用保守業務に関する専門的な知識及び経験を有すること。過去３年間に自社以外の企業、民間団体、官公庁等のウェブサイト運用保守を実施した実績を有し、これを証明できること。
⑼　ＩＳＯ27001（ＩＳＭＳ認証）を取得していること。あるいはＳＯＣ２またはＳＯＣ３の監査報告書を提出し、国際交流基金の審査を経て承認を得ること。クラウド手配にあたってはＩＳＭＡＰ登録済みのサービスを利用すること。
⑽　国際交流基金と係争中の者、国際交流基金と係争中の者の「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和38年大蔵省令第59号）第８条第３項及び第４項」に規定する親会社、子会社、子会社とみなされる他の会社等及び国際交流基金と係争中の者と同一の親会社をもつ会社でないこと。
⑾　その他入札説明書、仕様書に定める全ての要件を満たす者であること。

3　入札書の提出場所等
⑴　担当部署及び連絡先
〒330―0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和５－６－36　国際交流基金日本語国際センター 教材開発チーム　担当：高倉
TEL：048―834―1183
E-mail：jf_kyozai@jpf.go.jp
⑵　入札説明書の交付方法
希望者に対し、電子メール又は国際交流基金指定のファイル転送システムにて交付を行う。交付を希望する者は、令和７年１月23日(木)17時までに上記⑴の連絡先まで電子メールで請求すること。
⑶　入札説明会の日時、場所及び参加方法
令和６年12月17日(火)15時よりオンラインで実施する（参加は任意）。入札に参加を希望する者は可能な限り参加すること。説明会に参加を希望する者は、令和６年12月16日(月)17時までに上記⑴の連絡先に電子メールにて参加申込みを行うこと。
⑷　提出を求める書類
入札説明書のとおり
提出期限　令和７年１月23日(木)17時必着
提出場所　上記⑴に同じ。
⑸　入開札の日時及び場所
令和７年２月13日(木)15時　国際交流基金日本語国際センター２階　第５会議室
⑹　郵送等による入札書の受領期限
上記⑸の入札・開札に当日立ち会うことができない場合は、令和７年２月12日(水)17時必着で、持参又は郵送等による入札書類の提出を受け付ける。持参する場合は来訪前日までに上記⑴に記載の担当者に連絡すること。郵送の場合は、書留・宅配便等追跡可能な手段により期限内に到着するよう送付し、ＷＥＢ追跡システム等で到着を確認すること。送付中の事故等を原因とする未着には国際交流基金は責任を負わない。

4　その他
⑴　入札、契約手続きにおいて使用する言語及び通貨：日本語及び日本国通貨に限る。
⑵　入札保証金及び契約保証金：免除
⑶　入札者に要求される事項：この一般競争に参加を希望する者は、入札説明書で示す証明書・提案書等の必要資料を所定期限までに提出しなければならない。当該資料は独立行政法人国際交流基金において審査するものとし、競争参加資格を有する者による入札を行うものとする。入札者は、当該資料に関し説明を求められた場合は、それに応じなければならない。
⑷　入札の無効　入札説明書に定める条件に違反した入札書は無効とする。
⑸　契約書作成の要否　要
⑹　落札者の決定方法　入札説明書で指定する要件のうち必須とした要件についての基準をすべて満たしている提案を行った入札者であって、予定価格の制限の範囲内で有効な入札を行った入札者の中から入札説明書で定める総合評価の方法をもって落札者を定める。
⑺　その他詳細は入札説明書及び仕様書による。

5　Summary
⑴　Contracting entity : IIZAWA Nobuaki, Managing Director, The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Urawa
⑵　Classification number of the products to be procured : 71, 27
⑶　Nature and quantity of the products to be purchased : Operation and Maintenance of the website “Irodori : Japanese for Life in Japan,” “Erin’s Challenge! I Can Speak Japanese. Contents Library” and “Challenge with Erin-Japanese Language Test-,” 1 set.
⑷　Contract period : From April 1, 2025 to March 31, 2027
⑸　Implementation place : As shown in the tender documentation
⑹　Qualifications for participating in the tendering procedures :
①　The applicant must not fall under the provisions of Articles 16 nor 18 of the Accounting Bylaws of the Japan Foundation.
②　The applicant must have Grade A, B or C classification in offering services in terms of the qualification for participating in tenders (single qualification for every ministry and agency) for fiscal years 2022, 2023, and 2024.
③　The applicant must not currently be under suspension of nomination by the Japan Foundation or Ministry of Foreign Affairs.
④　The applicant must be able to reliably fulfill the terms of the contract with the Japan Foundation and who have no record of default, delay or other breach of promise over the past year.
⑤　The applicant must be able to attend regular meetings at the Japan Foundation Japanese-Language Institute, Urawa (Kita-Urawa, Urawa-ku, Saitama-shi, Saitama).
⑥　The applicant must have an organization, personnel structure, and management base sufficient to properly implement the project, and must have sufficient management capabilities and an accounting system to properly settle accounts for funds.
⑦　The applicant must pledge to maintain the confidentiality of confidential information related to this project obtained through participation in this bidding.
⑧　The applicant must have professional knowledge and experience in website operation and maintenance, and have experience in website operation and maintenance for companies, private organizations, government agencies, etc. other than their own over the past three years, and must be able to prove this.
⑨　The applicant must have obtained ISO27001 (ISMS certification). If not, the applicant must submit SOC2 or SOC3 audit report and obtain approval from the Japan Foundation. When arranging the cloud service, the applicant must use the services of a vendor that has obtained ISMAP certification.